

ジュニア プログラミング ワールド

JUNIOR PROGRAMMING WORLD



ジュニア・プログラミング・ワールド 2022
ご出展のお願い



国内最大級のプログラミング体験イベントが約3年振りのリアル開催！

ジュニア・プログラミング・ワールドは2017年にはじめて行われました。北海道の札幌を中心に、プログラミングに関わる数多くのワークショップや交流会を実施することで、たくさんのお子様と保護者の方々に、プログラミングの楽しさと価値を伝えています。

2022年度は、約3年振りとなる実際の会場での開催を予定しています。

過去に実際の会場で開催した際には、2018年は約3,700人、2019年は約6,000人の方々にご来場いただき、大変ご好評をいただきました。

ご出展は基本無料です。

ぜひみなさまのお取組みを多くの方々に知っていただく機会として、ご出展のご検討をどうぞよろしくお願いいたします。

ジュニア・プログラミング・ワールド 2022 概要

- 【目的】 お子様にプログラミングの楽しさや価値を知ってもらうための、お子様と保護者、教育関係者を対象とした体験・セミナーイベントを開催いたします。
- 【日時】 2022年12月17日（土）18日（日）10：00～16：00 ※予定
- 【場所】 札幌コンベンションセンター
（北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1）



- 【対象】 小～中学生とその保護者、小・中・高等学校教員等学校関係者
- 【共催】 札幌市 / 一般財団法人さっぽろ産業振興財団 / 札幌コンベンションセンター
- 【共催】 ジュニア・プログラミング・ワールド実行委員会 / 株式会社インフィニットループ / クリプトン・フューチャー・メディア株式会社
- 【特別協力】 NoMaps実行委員会

ジュニア・プログラミング・ワールド 2022 ご出展にあたって

【出展費】 基本無料（ご協賛プランは別途）

【出展内容】 下記5つのうちからお選びください
（ご希望が当てはまらない場合はご相談ください）

- ①ワークショップ体験ブース
子ども達がプログラミングなどの体験を行うことができるブース
- ②セミナー・発表ブース
セミナーや発表などを行うことができるブース
- ③保護者・教職員向けブース
保護者や教職員向けの取り組みを発表することができるブース
- ④その他・連携事業
普段実施されているイベントなどをJPWの会場で行っていただくことが可能です（連携事業）
- ⑤ご協賛・企業PRブース
ご来場される方々にPRされたい企業の方のご協賛・PRブースです
※諸条件につきましてはお問い合わせ下さい

<プレエントリーのお願い>

ご参加を前向きにご検討いただける場合は、
お手数ですが下記URL先からプレエントリーをお願いいたします。 ※2022年8月10日(水)締め切り

<https://forms.gle/sfc0yW4sL9NPidUp9>

ご登録にあたりご不明な点がございましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。

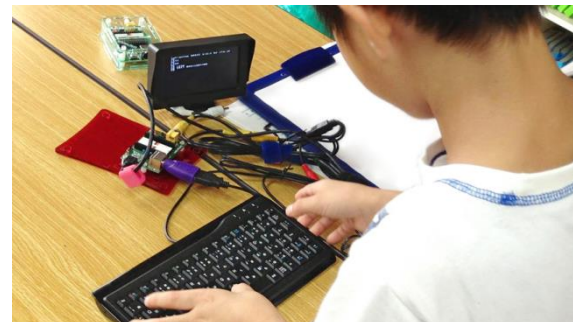
it-pro@sec.or.jp

担当：（一財）さっぽろ産業振興財団 平松、亀田

【具体的な体験プログラム例（過去の例）】

IchigoJamで光らす・調べる・動かす -初めてのプログラミング

モノづくりとプログラミングのおもしろさを
子どもパソコンIchigoJamを使って学びます。
＜対象年齢＞ 小学校3・4年生、小学校5・6年生



プログラミングおためしコーダー道場（仮）

Scratch体験&プログラムで小さなモノを動かす体験
をしてもらいます。

＜対象年齢＞ 小学校3年生～中学校3年生



Hour Of Code

マイクラフトを使ったプログラミング学習を体験
をしてもらいます。

＜対象年齢＞ 小学校3年生以上



Q1 会場のブース、およびセミナールームの大きさや、どのような用意があるか確認できますか？

A1 現在確認中です。まずはエントリーの際に、簡単なお希望をうかがいます。みなさまのお希望を元に会場内のブース・部屋を割り振らせていただき、追って詳細をご連絡させていただきます。

Q2 どのように参加者の申し込みを受け付けますか？

A2 申込・受付方法は大きく2つ「事前申込制」と「当日受付制」がございます。

「事前申込制」の場合は、JPW2022-2023公式HP（受付開始時に公開）にて申込受付を行います。お申込みいただいた方の情報はご出展団体様が確認することができます。その後の参加者へのご案内は、ご出展団体様の責任の元、参加者へ直接ご連絡をお願いいたします。

「当日受付制」の場合は、当日ご出展団体様ブースにて直接受付を行っていただきます。受付方法や受付を行った後のご案内は、出展団体様の責任の元、参加者へ直接ご連絡をお願いいたします。

Q3 参加費を取ってもいいのでしょうか？

A3 基本的に参加無料をお願いしておりますが、体験に実費が発生するものや、資料代が必要な場合は、参加費を設定していただいても問題ございません。参加費の回収は、出展団体様の責任の元、参加者へ直接お願いいたします。

Q4 ハンダゴテを使った体験は可能でしょうか？

A4 会場内での使用が禁止されており、不可となります。

Q5 どのように告知がされるのでしょうか？

A5 本資料内「広報プラン」をご参照ください。

Q6 車の搬入は可能でしょうか？

A6 可能です。ご希望をうかがい、追って詳細をご連絡させていただきます。

【学校経由でのPR】

- ・札幌市内の小・中学校の児童・生徒へのフライヤー配布
(札幌市教育委員会経由 約14万人)
- ・市内小・中学校教員へのアナウンス (7,500人程度) 予定
- ・札幌市立・道立高校教員へのアナウンス (2,000人程度) 予定

※北海道教育委員会、札幌市教育委員会の協力

【その他のPR】

- ・各プログラミング体験提供団体による告知
- ・NoMaps公式ホームページでの告知
- ・メディア等投げ込みによるパブリシティ

【想定来場者数】

- ・子ども及びその保護者 4,000名 (1,500組程度)
- ・教職員 100名

ご不明な点がございましたら、下記担当宛までご連絡ください。

ご検討のほど、よろしくお願いいたします。

ジュニア・プログラミング・ワールド 2022

<事務局担当>

(一財) さっぽろ産業振興財団 平松、亀田
it-pro@sec.or.jp